

2011年6月9日  
株式会社日立製作所

## 岡山県内に3棟目のデータセンター「日立岡山第3センタ」の開設を決定 BCM 対応やクラウドコンピューティングなどアウトソーシングサービス需要の高まりに対応

株式会社日立製作所(執行役社長：中西宏明／以下、日立)は、このたび、岡山県内に3棟目となるデータセンター専用ビルを建設し、新データセンター「日立岡山第3センタ」を開設することを決定しました。

新データセンターでは、事業継続マネジメント(BCM)対応、クラウドコンピューティングなど、新しい時代のアウトソーシングサービス需要の高まりに応え、高信頼・高品質のサービスを提供します。これを通じて、日立はアウトソーシングサービス事業のさらなる拡大を推進していきます。

なお、新データセンターでは、2012年度中をめどにサービスの提供を開始する予定です。

近年、情報システムの運用管理に対するTCO(Total Cost of Ownership)などのコスト削減意識の高まりや、クラウドコンピューティング技術の発達により、社会を支える情報インフラとしてのデータセンターへのニーズはますます高まっています。

また、東日本大震災以降、企業などのBCM対応に伴うシステムバックアップ需要の急増や、東日本における電力不足などを受け、西日本のデータセンターに対する需要が特に高まりつつあります。

日立は現在、「社会イノベーション事業」の拡大に向け、その主要事業のひとつである情報・通信システム事業の強化を進めています。この中でデータセンターを、これまでもBCMソリューションや日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」などを提供するための拠点としても位置づけてきました。

こうした中、日立は、岡山県内に新たにデータセンター専用ビルを建設し、「日立岡山第3センタ」として開設することを決定しました。西日本では岡山県をはじめ、大阪府、福岡県などにデータセンター拠点を設置しています。

今回、開設が決定した「日立岡山第3センタ」は、「JDCC<sup>(\*)</sup> データセンター ファシリティ スタンダード」のティア4<sup>(\*)</sup>の基準に適合するデータセンター専用ビルとして、強固な地盤への基礎免震構造や完全二重化電源などを採用した、堅牢な高信頼建物設備を備えます。また、セキュリティ面においても、指静脈認証による入退出管理やカメラと連動した防犯センサなど、万全の設備を整える予定です。なお、建設予定地は、活断層・湾岸・河川から十分な距離があり、自然災害面で安全性の高い立地です。

また、高効率設計の空調機や無停電電源装置(UPS)を導入し、設備配置の最適化を行うなど、最先端のグリーン IT 技術を採用することにより、地域・地球環境へも配慮します。

さらに、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証や ITSMS(IT サービスマネジメントシステム)認証を取得し、FISC<sup>(\*)3</sup>の「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準」にも準拠した、高信頼・高品質なアウトソーシングサービスの提供をめざします。

\*1 JDCC(Japan Data Center Council):特定非営利活動法人 日本データセンター協会

\*2 ティア 4:JDCC データセンター ファシリティ スタンドでは、データセンターのサービスレベルを耐災害性、設備の冗長性、セキュリティなどの面から 4 段階で評価しており、ティア 4 は最高のサービスレベル

\*3 FISC:公益財団法人 金融情報システムセンター

### ■日立アウトソーシングサービスに関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/>

### ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 IT サービス事業部

データセンタ本部 [担当：萩原]

〒212-8567 神奈川県川崎市幸区鹿島田 890 日立システムプラザ新川崎

電話:044-549-1322(ダイヤルイン)

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---